

第4回香川県がん診療連携協議会議事要旨

1 日 時 平成23年8月31日（水） 16:00～17:35

2 場 所 香川県社会福祉総合センター7階 特別会議室

3 議 事

事務局から、本日の協議会は、オブザーバーとして、国立がん研究センターがん対策情報センターから3名の方をお招きしての会議である旨説明があり、了承された。

議事に先立ち、香川県がん診療連携協議会会長である香川大学医学部附属病院の千田病院長から挨拶があった。

引き続き議長の選出があり、千田病院長が選出された。

次に、議長から、本日の協議会は、部会長を交えての会議である旨説明があり、了承された。

議長の指名により、香川県がん診療連携協議会委員を代表して香川県医師会の森下会長から挨拶があり、平成24年9月13日（木）・14日（金）に、サンポート高松において、日本対がん協会の「がん征圧全国大会」を開催する予定である旨説明があった。

議長から、前回第3回香川県がん診療連携協議会の議事要旨について、資料1を確認していただきたい旨依頼があった。

（議事）

（1）第4回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会について（報告）

香川大学医学部附属病院腫瘍センター長である合田委員から、資料2に基づき説明があった。大きく変わったところは、がん対策推進計画を五年ごとに見直すこと、がん診療連携拠点病院の指定要件については、副作用対応を含めた放射線療法・化学療法の研修を実施すること、HTLV-1関連疾患であるATLに関する医療相談支援を実施することで、国立がん研究センターで実施する予後調査支援事業についての説明もあった。また、昨年設置された臨床試験部会に続き、がん登録部会が今年度設置された旨説明があった。臨床試験部会については、立ち上がった時点で各拠点病院において、担当者を推薦していただいた旨依頼があった。

渡邊国立がん研修センター医療情報コンテンツ研究室長から、予後調査について、自治体からの十分な協力を得られるよう検討が進められている旨補足説明があった。

（2）平成23年度における具体的な取組策等について

・情報・広報部会

合田部会長から、資料3に基づき、香川県がん診療連携協議会のホームページの掲載状況について説明があった。また、一般の人が当協議会のホームページに参加できるよう、各拠点病院、県及び医師会からのホームページより当協議会のホームページへリンクを張

った旨報告があり、今後、患者会からもリンクを張っていただきたい旨依頼があった。

また、各拠点病院において、各ホームページにがん医療に関する情報を広報していただきたい旨依頼があった。

・研修・教育部会

寛部会長から、資料4に基づき、文部科学省の中国・四国広域がんプロフェッショナル養成プランにおける各種セミナーの実施状況、がんに関わる医療従事者等の研修実施状況、地域連携・パス部会長の進めている地域連携クリティカルパスを実質的に動かすためのセミナーの開催状況、今年度から拠点病院の必須事項になった放射線療法・化学療法の副作用対策に関する研修会について説明があった。

また、各研修に、より多く参加していただくために、実施計画が判明次第、情報・広報部会を通じて、各拠点病院に案内するとともに、医師会に連絡し、医師会週報への掲載をしていきたい旨説明があった。

・緩和医療・相談支援部会

吉澤部会長から、資料5に基づき、緩和ケア研修会開催状況及びその広報の継続・拡充（研修会指導者の育成、県・郡市医師会の連携）、がん相談支援センターの充実及び啓発強化（相談件数増加の推進、相談件数算定基準の見直し）、がん患者会とのコミュニケーションの増進（がん相談支援センターの活用、県との協働）、各拠点病院における緩和医療関連行事の開催状況について説明があった。

前田香川県健康福祉部健康福祉総務課主任からがん患者会とがん診療連携拠点病院が連携した情報誌“つながるねっと”に関する説明があった。

渡邊国立がん研修センター医療情報コンテンツ研究室長から、相談支援センターは、患者さんが相談しやすいように、分かりやすい場所に設置していただきたい旨依頼があった。

・院内がん登録部会

合田部会長の指名により松浦部会委員から、資料6に基づき、院内がん登録部会実務者会の活動状況、院内がん登録データの統計・分析・評価、がん登録実務者の資質向上、5年生存率の公表・データの検証について説明があった。

・地域連携・パス部会

青江部会長から、資料7に基づき、5大がんの地域連携パスの公開、郡市医師会での講演、がん治療連携計画策定料及びがん治療連携指導料の施設基準に関する届出状況、県内医療機関に対するアンケート調査結果、香川県版「地域の療養情報」の策定について説明があった。また、香川県版「地域の療養情報」について、発行責任の所在を明らかにするため、国立がん研修センター及び当協議会との連名記載にしたい旨の提案があり、承認された。今後、地域連携パスの拡大について、前立腺がんのパスができていますので、専門部会を設置する旨の提案があり、承認された。

また、香川県労災病院から、地域連携パスにおける施設基準に関する届出が最も多いのは、ネットワークを利用して関連医療機関に説明をし、がん診療連携に加わってもらった

との説明があった。

渡邊国立がん研修センター医療情報コンテンツ研究室長から、香川県版「地域の療養情報」について、患者さんに納得してもらえるよう、より良いものを作成していただきたい旨依頼があった。

(3) 香川県がん対策推進協議会の取組状況について（報告）

安松香川県健康福祉部健康福祉総務課長から、資料8についての報告があった。

(4) その他

・星川香川県健康福祉部医務国保課副課長から、全国がん対策主管課長会において、県が緩和ケア研修会の内容を見てほしいということ、また、指定に当たり拠点病院の掲示を現地で確認してほしいという旨の報告があり、各拠点病院の指定更新等に係る今後のスケジュールを立て視察する旨説明があった。